



重点目標	具体的取組	達成度判断基準	集計結果	分析(成果と課題)及び後期の扱い(改善策等)
2 生徒会活動や部活動を活性化させ、人間性に富み、心身ともに健全で逞しい人づくりをめざす。	① 本校の運動部は、県高校総体・新人大会で団体・個人とも上位を目指し、高体連表彰敢闘賞を獲得する。	高体連基準総合得点が A 60点以上 B 50点以上60点未満 C 40点以上50点未満 D 30点未満	県総体、県新人大会の成績結果を検証  評価：A(70.5点)	県総体の結果、現在の総得点は70.5点である。これは剣道部の男子団体優勝、個人1・2位、各部においても3位入賞、ベスト8など上位入賞が多かったことによる。評価はすでにA評価であるが、陸上部とラグビー部がまだ加点されていない。陸上部は総体フィールド団体優勝、ラグビー部も上位入賞が期待されるので総得点は80点を超えると予想される。高体連表彰敢闘賞の常連校は小松商業高校であり、今年度は念願の敢闘賞を獲得できる可能性が充分に出てきた。秋の結果を期待したい。
	② 文化部で部活動への重複加入を奨励し、各部の取組や活動に生徒が積極的に取り組む。	文化部の活動に満足しているか A たいへん満足している B おおむね満足している C あまり満足していない D まったく満足していない	各文化部対象に7月に調査 A：37% B：46% C：12% D：5% 評価：A・B合わせて83%	7月末に全文化部員対象に調査を行った。A・Bをあわせて83%の生徒が満足していると回答した。今年度から始めた文化部への調査であるが、非常に満足できる評価である。 9月には羽工祭を控え、文化部の活動の機会も充分に増えるので、さらに生徒が満足するよう、顧問や生徒に働きかけていきたい。
	③ 生徒会を中心にして行事への参画意識を高め、自主的に参加する行事にする。	生徒会行事に満足しているか A たいへん満足している B おおむね満足している C あまり満足していない D まったく満足していない	生徒対象に7月にアンケート調査 A：38% B：55% C：6% D：1% 評価：A・B合わせて93%	全校生徒対象にアンケートを行った。A・Bあわせて93%の生徒が満足していると回答した。昨年度の中間評価と比べて9ポイントもあがっている。これは今年度の生徒会の役員全校生徒への働きかけや、日々の活動、各行事の内容の充実によるものと考えられる。 9月には最大行事の羽工祭も控え、さらに全生徒が満足できるよう生徒会、生徒一人一人に働きかけていきたい。
	④ 保健だよりや集会、SH等を利用して、生徒の心身の健康管理についての意識の高揚をはかる。	自分自身の心と体の健康管理について、日頃から意識して生活しているか A 常に意識している B ある程度意識している C あまり意識していない D まったく意識していない	生徒対象に7月にアンケート調査 A：14% B：66% C：17% D：3%  評価：A・B合わせて80%	A・B合わせて80%で、判定基準をクリアした。保健だより等、具体的取り組みについては一定の成果が出ていると考えられる。後期においても引き続き季節に応じた具体的取り組みを継続し、生徒の健康に対する意識の向上に努めたい。
3 工業学習成果の提供や奉仕活動等を通して地域社会との連携や社会貢献に対する意識を高める。	① 社会に貢献する大切さや必要性を認識するために、校外でも1日1善運動を推奨する。	1日1善運動について A 毎日必ず実践している B できるだけ実践している C あまり実践していない D 全く実践していない	生徒対象に7月にアンケート調査 A：15% B：62% C：20% D：3% 評価：A・B合わせて77%	全生徒対象にアンケート調査を行った。A・Bあわせて77%で、昨年度の中間評価と比べ1ポイントの減であるが、この運動が定着してきていると感じられる。 昨年度はこのあと意識が下降傾向になったので、2・3学期にこの運動の意識がさらに良くなるよう工夫し働きかけていきたい。
	② 社会生活を営む上で、ルールやマナーの必要性を理解させ、実践的指導により交通ルールとマナーを遵守する生徒を育てる。	自分自身の自転車乗車ルール(規則)について A ルールを守り安全に運転している B ルールをある程度守り運転している C ルールをあまり守らず運転している D ルールを守らず運転している	生徒対象に7月にアンケート調査 A：34% B：57% C：8% D：1%  評価：A・B合わせて91%	第1回目のアンケート調査では、A・B合わせて約91%と昨年度に比べ少しではあるが意識の向上がみられる。学年別では、2年生に交通ルールを守ろうとする意識がやや低い。今後も集会やLH、朝のあいさつ運動を通して交通ルールをはじめ生活態度の意識を高められるよう注意を促し、より一層組織的に取り組んでいきたい。
	③ Webページの定期的更新間隔を短くし、学校全体の情報公開のスピードを上げる。また、教育活動や部活動のタイムリーな情報を発信し、更新状況等を分かりやすくする。	ホームページを更新した回数 A 50回以上 B 40回以上50回未満 C 30回以上40回未満 D 30回未満	各担当に7月に調査 更新回数：28回  B評価(40回)に対する達成率70%	1学期の各課・科や部活動等のホームページの更新回数が28回となり、判定基準であるB評価(40回以上)に対する現時点での達成率は70%である。Webページによる、よりタイムリーな情報発信を目的に、創立50周年行事等が行われた昨年とは異なる通常の年度で同じ基準設定しており、今後も教職員への情報発信をこまめに働きかけて目標達成に向けて努力していきたい。
	④ 環境保全のこれまでの取組を継続し、ゴミ分別等が正しく行われているかを評価し、美化意識の向上を目指す。	15点以上の教室が A 90%以上 B 80%以上90%未満 C 70%以上80%未満 D 70%未満  環境保全(ゴミの分別・節水・節電等)に取り組んでいる割合が A 80%以上 B 70%以上80%未満 C 60%以上70%未満 D 60%未満	ISO委員により6月に各教室を1週間調査(1日20点満点で評価) 15点以上の教室100% 評価：A  生徒対象に7月にアンケート調査  評価：A(81%)	第1回目の清掃調査結果は全教室平均点が17点で、評価はAであった。全クラスが15点以上であり、生徒の清掃への取組意識の高さがわかる結果となった。実施期間以外でも清掃意識の向上に向け、2・3学期も取り組んでいきたい。  第1回目のアンケート調査で、取り組んでいる生徒の割合が81%であった。評価はAではあるが全体としてもう少し意識向上につながればと感じる。後期に向けて、更に掲示物や昼食時の放送での啓発活動を行い、学校全体で意識向上につとめていきたい。
学校関係者評価委員会の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の成績や生徒会活動が年々良くなっており、この傾向を今後とも続けて欲しい。また、羽咋工業の生徒は挨拶がはっきりしていて良い。</li> <li>・スマートフォンを持っている生徒は多いと思うが、コミュニケーションの方法がスマートフォンばかりというふうになってはいけない。</li> <li>・自転車の安全な乗車についての意識がやや低い。生徒には今後とも指導してほしい。</li> </ul>			
学校関係者評価委員会の評価を踏まえた今後の改善策	スマートフォンを持っている生徒は多く、その使用について集会などで指導しており、今後とも指導を継続していきたい。自転車の安全乗車についても全校集会などで注意指導をおこなっており、一層徹底したい。また、挨拶やマナーを守った行動を校内外で行えるよう指導を継続したい。			